



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0021
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第283号

主のご降誕と

新年のおよろこびを

申し上げます。

幼子キリストの豊かな恵みと祝福を

皆様方ご一同の上に

お祈りいたします。

二〇一一年元日

主任司祭

竹森 勇



「心の健康セミナー」お誘い	2面
子ども達のページ	3面
委員会報告	4面
典礼委員会議事録	5面
今モーセの十戒を読み直す	6・7面
教会学校のページ・聖書への案内	7面
おしらせ・小グループ紹介	8面



「心の健康セミナー」へのお誘い



6年ほど前、黙想の家で、月1回精神医学学習会が始まりました。精神医学・心身医学、性格障害、治療総論から、発達精神医学、うつ病とそううつ病、不登校、老人性痴呆、更年期障害など具体的な項目についても講義が行われたといえます。

2年前から日曜日の午後、年4回(春夏秋冬)一般向けに「心の(健康)セミナー」(原則無料)が開催されるようになりました、講師は精神科医師の小宮豊氏です。

セミナーは、小宮氏が6~7枚の資料をもとに話され、黙想の家の来住神父がコメンテーターとして同席されます。小宮氏は、このセミナーを精神医学と宗教家(信仰)の対話、と位置づけておられるようです。小宮氏はプロテスタントです。

今回は「家族」の成立とその変遷、をテーマに、2010年秋(11月28日)「家族」とは、2011年冬(2月13日)「家族」の光と影、について講演と分かち合いが行われます。家族にまつわる様々な問題が社会に持ち上がっています。身近すぎる話題ですが、現実には自分の家族以外についてあまり知られていません。

「家族」の定義として『住居を共にすることによっての一つのまとまりを形成した親族集団のことである』『火(台所)を共同使用すること、すなわち共食共同体である。「別火」がおきたとき、世帯別離がおきた』等がありました。さらに家族の形態、内部構造、機能、家族周期、20世紀後半以後の家族動向などの視点が提示されました。



家族周期とは聞き慣れない表現ですが、家族のライフ・サイクルは大体30年単位で、新婚・子育て・子の成人化・老夫婦というライフ・ステージと独身人生・配偶者との人生・単身というライフ・コース(個人の人生)という面があるといえます。

日本の家族は、「家」制度と関連づけられますが、父系直系家族の概念は、明治以前には武士階級の間(社会の10%)にみられたものの庶民には知られておらず、人口の90%は、多様な世帯構成で暮らしていたといえます。また日本の家族の中核は夫婦よりも親子にあって、西欧の家族と比較して注目されるのは3世代家族だそうです。

次回2月13日(日)午後2時から、20世紀後半以後の家族動向から、シングルス(独身主義者)、無登録夫婦・家族の増加(婚外子の増加)、一人親家族の増加、長寿によるライフコースの変化などによって生じてきた家族問題を、「家族」の光と影、として考えることとなります。教区報にもお知らせが載ります。

「心の健康セミナー」世話係(11月より) 矢田公美



みな せいしよ し かみさま
皆さんは聖書を知っていますか。神様の
ことが書いてある本が聖書です。家にあ
りますか。みんなは自分の聖書を持ってい
ますか。そして呼んだことかありますか。

せいしよ ぜんぶ よ たいへん
聖書を全部読むのは大変です。なにし
ろ長くてむずかしいこともたくさん書いて
あります。大人になっても読むのは大変で
す。

まいつききょうかいがっこう べんきょう
毎月教会学校で勉強しているでし
ょう。そのときリーダーが教えてくれている
のがせいしよですが、それはせいしよ いちぶ
です。教会学校ではみんなが分かりやすく
いちばんたいせつ おし くだ
一番大切なところを教えて下さっている
のです。

きょう しんこう ちゅうしん せいしよ
キリスト教の信仰の中心は聖書で
す。キリスト信者は聖書を知らないとい
けません。だから、今回から聖書はどん
なものを書くことにします。

まえ せいしよ ろうどく
ミサのときに前で聖書の朗読があるの
を知っていますか。

にちようび だいいちろうどく きょうやく
日曜日の第一朗読はたいていが旧約
せいしよ
聖書です。しかし、旧約聖書ではなく

しとげんこうろく よ だいに
使徒言行録を読むこともあります。第二
ろうどく しんやくせいしよ せい てがみ
朗読は新約聖書の聖パウロたちの手紙
がよまれます。そしてさいご しんぶさま
最後に神父様が
ふくいんしよ よ
福音書を読みます。

このことから分かるのは、せいしよには
きゅうやくせいしよ しんやくせいしよ
旧約聖書と新約聖書があることが分か
ります。

きゅうやくせいしよ しんやくせいしよ
旧約聖書と新約聖書はどのように
ちが
違うのでしょうか。

きゅう じ ぶる いみ
旧という字は古いかいいう意味です
ね。しん あたら じ やく
新は新しいという字です。約という
じ たくそく やく きゅう しん
字は約束の約です。どうして旧と新があ
るのでしょう。

きゅうやく ぶる やくそく けいやく
旧約は古い約束(契約)のことです。こ
やくそく けいやく さいしよ かみさま
の約束、すなわち契約は、最初に神様に
えら ひと
選ばれた人たちがしました。そのやくそく
もと かみ こ ため い
下で神の子となったイスラエルの民が生
きてきた歴史と、新 しい救い主が来るま
でのいろいろなことが書いてあるのが
きゅうやくせいしよ
旧約聖書です。

しんやくせいしよ しゆ かみさま あたら
新約聖書では、主イエスが神様と新
しいけいやく やくそく
しい契約(約束)をします。

委員会等報告

2010年12月分

12月度小教区委員会

12月5日

1、行事報告

- ・11月14日、聖書週間講座(小倉教会)
9名参加
- ・11月23日、安心院巡礼旅行、52名参加
- ・11月23日、信徒協 典礼研修会(新田原教会)、8名参加
- ・11月28日、クリスマス電飾取り付け
今回の話し合いで、LED電球を購入することとなった。但し、飾り付けは、来年にする。

2、前委員会の議事確認(一部のみ)

・街頭募金(通例ならば12月12日)の在り方について議論。今年の街頭募金は取りやめ、例年どおり配送されたチラシを一部加筆印刷した上で、信徒が各地域で配布することになった。

- ・12月19日(日)教会学校クリスマス会
24日(金)イヴのミサ(19時半)
- ・祝日のミサ：25日(土)10時、12月25日(土)の夕方のミサはなし。
- ・元旦ミサ、10時、車の祝福式

*駐車場基金への意見

ーからしだね(教会報)における誤記について：広報委員からー

11月の委員会に寄せられた意見として、「基金という表記にしておくべきである、献金としないで頂きたい」と述べられたのに、からしだね12月号には「献金だったものを基金と命名したことに異議があっ

た」と記述され、正反対に書かれた。このことへの訂正が述べられた。

3、議題

- *街頭募金用チラシの最終確認
- *クリスマス・イヴのレセプション準備
- *23日(木)前日会場準備→テント張りは中止する。
準備する物：プロパン1台、ガスコンロ
- *24日(金)食事担当、事前買い出し、コーヒー提供(有料)
- ・料理は、24日10時から(ぶた汁用容器200個、等)
- ・会場準備担当、岡部、宗；
- ・駐車場警備：俵、山本
- ・聖堂内案内係、抽選会担当係
- ・例年のたき火についての議論をしたが、やはりたき火は実施することになった。但し、後片付けが迅速にできる様にドラム缶型を利用する。担当：山本、俵、宗
- ・イヴのミサの駐車場：今年度は、渡辺外科は使えない。
- ・商工会館裏の駐車スペースと、幼稚園裏のみ。
- ・新年の1月1日 新年会、成人式 該当者8名
- ・来年度の役員改選について
方法論を含め、意見交換が行われた。年明けて、再び議論する。

2010年度 第8回 典礼委員会議事録

開催日時：2010年12月8日(水) 19:30 場所：信徒会館

出席者：竹森神父、松尾、山本、矢田

《確認事項》

1. 共同回心式 水巻教会 12月17日(金)
10:30(司会：松尾) 19:30
入祭：典77「神よあなたの道を示し」閉祭：典371「しあわせな方マリア」
2. 2011年1月15日(土)14時 吉田さん(中間地区)結婚式
司会：田中 拓 氏 オルガン演奏：吉川加奈子 氏
3. 1月16日(日) 典礼聖歌研修会 深堀 純 氏
ミサ中から指導を依頼。午後参加者の弁当注文12月25日(土)より
4. 北九州信徒協主催の典礼研修会(新田原教会、講師：宮原司教)
100名以上が参加、水巻教会から8名(半日参加3名)

《審議事項》

1. クリスマス前夜祭「ミサ進行表」と「前夜祭の祈り」(別紙)
前夜祭りハーサルを12月19日(日)ミサ後に行う。
担当者は出席のこと。
2. 1、2月の聖歌予定表
3. その他
 - ・ 典礼委員会へのお誘い呼びかけ 樽角 務氏
 - ・ 12月25日(土)10時 クリスマスミサ
1月1日(土)10時 神の母マリアのミサ
両日とも朗読当番なし、典礼委員の責任で行う。

《次回予定》

2011年 2月9日(第2水曜日)19時30分 信徒会館

2011年 1月の典礼委員会はお休み。必要があれば開催


 典礼聖歌研修会参加のお誘い

1月16日(日)深堀先生を講師に迎え、典礼聖歌研修会を行います。

約1年半ぶりの研修ですし、希少なチャンスなので、沢山参加していただきたいと思っています。ミサから指導いただいて、ミサ後約1時間全体練習、午後約1時間詩編の練習をしていただく予定です。クリスマス後に午後の部参加者用のお弁当注文を受け付けを始めます。

「今、モーセの十戒を読み直す」No.8

さいたま教区長 谷 大二司教

第四戒

「あなたの父母を敬え。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることができる」

「父母を敬え」は、どこでも出てくる言葉ですね。戦前の教育勅語の中にも出てきます。封建社会というのは、男尊女卑と上意下達、これが思想的な二本柱になっていると思います。

そういう中で父母を敬えというのは、組織を維持していく上で重要な教えになっています。自分のお父さんとお母さんだけを敬えじゃなくて、お父さんとお母さんを敬うというのは、大きな三角形の中の一つの小さな三角形を維持するという意味です。

つまり、王制度を前提にした一つのセル、細胞としての父母（の位置づけ）、ここに教育勅語の中にどうして「父母を敬え」が出てくるのかという意味があるのですね。それは組織全体を守るためにどうしても必要なことだった。

モーセの第四戒の「父母を敬え」というのは、どういう意味か。結論から言いますと、これは王制度の否定という風に言っていると思います。日本というのは、中国文化あるいは漢字文化圏の中で徹底した封建社会の考え方がしみ込んでいますから、それと同じように考えることができないかも知れません。

このエジプトにおいてイスラエルの民が父母を敬えと言ったときには、「王様を敬うな」と、「自分の父母を敬え」という意味です。

大家族の下にあった父母というのは、今の私たちでいえば親戚のおじさんも、おばさんもみな父母になる。ですから大家族主義の中でたくさんのお父さんお母さんがいたと考えてもいいと思います。もっと言えば、兄弟姉妹として尊敬し合いなさいという風な意味にも取ることができます。大家族主義あるいは部族を中心とする共同体というものを言葉の中で示していた。

ピラミッド型の抑圧のシステムを否定し、神々や王様を否定して自分の父母、兄弟姉妹を大切に作る共同体を作れ、という風な意味で理解することができます。

実際、中近東の地域は部族を中心にした共同体や国家があります。パキスタンやアフガニスタンなどに行くと国家よりも部族の方が中心になっていますから、部族の共同体の力強さというのが今でも残っています。

イエスはこの問題をどのように語っているかというと、血縁ではなく神の言葉を中心とした共同体、これをイエスは共同体像として私たちに提示しているのです。

イエスが話しているときにお母さんが外に来た。弟子が、お母さんが来ましたよと言ったときにイエスがどのように言ったか。「私の父母とはだれか」と言っています。

つまり血縁を否定し「神様の言葉を聞いてそれを行っているあなたたちこそ、私の母であ

り父であり兄弟姉妹なのだ」という風に言う。血縁を否定して、み言葉を中心とする共同体観というものを示している。日本の社会もまだまだ血縁中心の考え方が色濃く残っています。宣教というのもここから、民族、部族という枠を越えて世界のすべての民に開放する「旅する民」という共同体観を提示して行くことになります。

イエスはこの父母を敬えという言葉はどういう風に完成させるかということ、「天におられる私たちの父よ」、この言葉で完成させるのです。父は神様お一人なんだと。こういうことによって偏狭な民族主義的な共同体観を乗り越えて、神の民という新しい共同体観を示していると言えると思います。(次号へ続く)



聖書への案内 No.17 ヨブ記

ヨブ記のことを、聖書の中で一番素晴らしいと言う人もいれば、一番難解なものと言う人もいます。全体が黙示的な思想で書かれています。

善良で正しい人である非ユダヤ人ヨブの苦難を、オリエントの民話をもとに書かれています。

正義の人ヨブは、ひどい皮膚病に罹ります。そのためヨブは病気のひどさに苦しみます。そして神に、私が何をしたのかと尋ねます。その後、病気のヨブのところに友人が来て、神の怒りや取り成しについて問答を続け、人生の苦難の問題を追及していきます。

これらの問答の中に哲学的な信仰の真髓が書かれているといわれ、解説書もたくさん出ています。一度挑戦してみてもいいのではないでしょうか。

1月のおしらせ

★特別献金★

12月5日

宣教地司祭育成の日 45,700円

ご協力、ありがとうございました。

★1月1日 新年ミサ★

☆午前10時から

今回もこの日に、成人のお祝いと車の祝福式を行います。また、ミサ後に新年祝賀茶話会も行います。

★黙想会の知らせ(レプトン会)★

日時：1月29日(土)

10:00~15:00

場所：カトリック水巻教会

費用：500円(弁当代)

指導司祭：田丸篤神父

(カトリック下関長府教会主任)

テーマ：イエスは、天の父を教えた、

天の父の心を教えた

詳しい内容は、聖堂後ろの掲示板、もしくは先月号をご覧ください。

小グループ紹介シリーズ

広報委員会

水巻教会の広報誌「からしだね」を編集している委員会です。毎月第3日曜日に編集をしています。

編集するための機材も、初期のワープロからパソコンに変わり、現在は最新式のパソコンになりました。このパソコンには、どこにも無いほどのカット集のソフトが入っています。

この広報誌「からしだね」を創立された頃、当時の担当者はとても苦労し編集をされてきました。その後20年以上続けて発行するうちに小教区に定着してきました。編集の方針として、私たちの信仰の中心は何かを意識していますので、多方面から信仰の助けになる文書を手入して掲載しています。また、小グループの行事や委員会の報告はなるべく詳しく掲載するようにしています。幸いにも教会学校やキャンプの報告なども毎回原稿が出されるようになりましたし、小グループの活動も原稿がきますので、編集時間もかなり短縮されました。

行事や企画は「予告」と「報告」が大切です。皆さんが企画されるものや、楽しいニュースがありましたら、広報委員へお知らせください。詳しい原稿は必要ありません。内容がわかる簡単なメモがありましたら私たちが記事にします。皆さんからの投稿をお待ちしています。